

No.2019-29

発行:2019年4月3日

ブラジル工場でトラック・バス用タイヤの生産開始

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、ブラジル市場におけるトラック・バス用タイヤの安定供給を図るとともに、為替変動リスクの回避を目的として、ブラジル工場にトラック・バス用タイヤの生産設備を新設し、3月1日に生産を開始しました。2020年末には生産能力を日産1,000本とする計画で、総投資額は465百万リアル(約135億円※)です。

※1リアル=29円で換算

これまで、トラック・バス用タイヤについては輸入販売を行っていましたが、このたびトラック・バス用タイヤの生産を開始することで、現地での安定供給が可能となります。ブラジルの同タイヤ市場は今後年2-3%程度の成長が見込まれています。現地生産により、乗用車・ライトトラック用タイヤと合わせて、ブラジル市場におけるタイヤ販売事業の一層の強化を図るとともに、当社のグローバル展開をさらに進めてまいります。

■2016年7月発表内容: http://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2016/sri/2016_062.html

■2018年9月発表内容: http://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2018/sri/2018_080.html



ブラジル工場

<ブラジル工場概要(2018年12月末)>

会社名: Sumitomo Rubber do Brasil Ltda.

所在地: パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市

代表者名: 脇谷 宜典(社長)

操業開始: 2013年10月

設立年月: 2011年7月

事業内容: 乗用車・ライトトラック用タイヤの製造・販売

生産能力: 16,800本/日

従業員数: 1,307名

<トラック・バス用タイヤ工場概要>

生産開始: 2019年3月

建屋面積: 約13,400㎡

生産能力: 1,000本/日(2020年末予定)

以上